

土 地 改 良 事 業 計 画 書

県 営 西 山 中 部 地 区

区画整理（経営体育成基盤整備「農地中間管理機構関連型」）事業

(変更)

< 目 次 >

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1. 一般気象	2
2. 特殊気象	2
3. 海 象	3
第2節 土 地 状 況	3
1. 地形、土壤及び侵食の程度	3
2. 土地分類	3
3. 土地利用の状況	4
4. 土地所有の状況	4
第3節 水 利 状 況	5
1. 用水状況	5
2. 排水状況	7
3. 河川状況	9
第4節 道 路 概 況	10
1. 道路概況	10
2. 主要道路一覧表	12

第5節 地域農業の概況	13
1. 産業別就業人口	13
2. 経営耕地広狭別経営体数及び耕地の分散状況 並びに農業経営体数	13
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	13
4. 主要作物作付状況	14
5. 農業の動向	15
第6節 地域環境の概況	16
第4章 一 般 計 画	17
第1節 事業計画の要旨	17
1. 要 旨	17
2. 事業別面積	17
第2節 営農計画及び土地利用計画	18
1. 営農計画の概要	18
2. 土地利用区分	18
3. 作付方式	19
4. 生産計画	20
5. 労働改善計画	21
6. 級地別土地利用区分	21
7. 土地配分計画	21
第3節 用 水 計 画	22

1. 計画基準年	22
2. 計画かんがい方式	22
3. 計画用水系統	22
4. 計画用水量	24
5. 水源計画	24
第4節 排水計画	26
1. 計画基準雨量	26
2. 計画排水方式	26
3. 計画排水系統	26
4. 計画排水量	28
5. 排水対策	28
6. 湛水検討	28
第5節 道路計画	29
1. 道路及び索道	29
2. 路線配置図	29
第6節 農用地造成計画	31
第7節 洪水調節計画	31
第8節 干拓計画	31
第9節 農用地整備計画	31
1. 区画整理	31
2. 暗渠排水	33
3. 客土	33

4. 農地保全	33
第10節 老朽ため池改修計画	33
第5章 主要工事計画	34
第1節 用水施設	34
1. 貯水池	34
2. 頭首工	34
3. 揚水機	34
4. 用水路	34
5. その他かんがい施設	34
第2節 排水施設	35
1. 排水水門	35
2. 排水機	35
3. 排水路	35
4. その他排水施設	35
第3節 道路及び索道	36
1. 道路	36
2. 索道	36
第4節 農用地造成	36
第5節 洪水調節施設	36
第6節 干拓施設	36
第7節 農用地整備施設	37
1. 区画整理	37

2. 暗渠排水	38
3. 客 土	38
4. 除 礫	38
5. 農地保全	38
第8節 老朽ため池改修施設	38
第6章 附帯工事計画	38
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	38
第8章 環境との調和への配慮	39
第9章 換地計画の概要	40
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	40
第2節 換地区の設定	40
1. 換地区の名称、所在、面積	40
2. 換地区を設定する理由	40
第3節 換地計画樹立の基本方針	40
1. 従前の土地の地積の基準	40
2. 用途別予定地積	41
3. 農用地集団化の方針	42
4. 非農用地の換地方法	42
第4節 土地の評価及び清算の方法	43
1. 評価の方法	43
2. 清算の方法	43

第5節 換地計画樹立の年度計画	43
第6節 換地処分の時期に関する特則	43
第10章 事業費の総額及び内訳	44
第11章 効 用	45
第12章 関連する事業	45
第13章 現況・計画図面	45
計画一般図	46

第 1 章 目 的

本地区は、新潟県柏崎市の北部に位置し、地区内を流れる二級河川別山川を中心に形成された、丘陵に囲まれた農地を受益区域とする水田地帯である。

本地区のほ場は昭和34年に団体営事業で10 a 区画に整備されたままであり、農道は3 m以下の幅員であるため、大型機械のすれ違いが出来ずに営農に支障をきたしており、担い手への農地集積が進まない状況である。また、暗渠排水がなく、排水路の渠底が浅い用排兼用水路であり、排水不良の湿田のため、園芸作物の拡大及び導入が進まない状況である。

このため、農地中間管理機構との連携による担い手への農地の集積・集約化や、大型機械の導入等による労働費の低減等による生産コストの削減を図るため、農地の大区画化に加え、高収益作物への転換、拡大を通じた収益力の向上を図る基盤整備が必要である。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第 1 表)

事業名	地 域
区画整理	新潟県柏崎市西山町池浦・西山町二田・西山町礼拝・西山町藤掛

第 2 節 地 積

(R8年3月現在)

(R5年8月現在) (第 2 表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
区画整理	柏崎市	23.3 22.4	1.4	—	—	3.8 3.7	28.5 27.5	
計		23.3 22.4	1.4	—	—	3.8 3.7	28.5 27.5	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象 (位置 東経 138° 33.4′ 北緯 37° 21.0′ 標高 7m)

(第3表－1)

観測所名	柏崎観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	備考欄参照	5月 ～ 8月	9月 ～ 4月		
平 均 気 温 (℃)		21.4	9.2	13.3	気象庁HP統計 (1979年～2022年)
降 水 量	平 均 (mm)	630.5	1,773.4	2,405.4	気象庁HP統計 (1979年～2022年)
	基 準 年 (mm)	470.0	1,609.0	2,079.0	柏崎測候所 (1974年)
降水日数	平 均 (日)	46	151	198	気象庁HP統計 (1979年～2022年)
	基 準 年 (日)	—	—	180	柏崎測候所 (1974年)
根 雪 期 間		1月10日 ～ 2月19日		41日間	新潟地方気象台 (1991年～2020年)
無 霜 期 間		4月1日 ～ 11月26日		240日間	新潟地方気象台 (1991年～2020年)
最 多 風 向		SSE	最 大 風 速 (風向)	16.0 m/s (SSE)	最多風向発生時期 9月 最大風速発生年月日 2006年4月11日

2. 特殊気象

(第3表－2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
柏 崎 観 測 所	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観 測 期 間																
1953年～2019年																
最 大 日 雨 量 (mm)	256	2005 6.28	1/500	141	1984 8.30	1/20	137.5	2017 7.3	1/20	125.8	1956 7.16	1/10	123	1978 6.26	1/10	R3 新潟県水文統計資料-年間
最大時間雨量 (mm)	52	2007 8.22	—	50	1976 8.14	—	48	1991 8.8	—	46	1984 8.30	—	43.5	2013 7.14	—	気象庁 HP 統計（1976年～2019年）
最大4時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量 (mm)	759	1961	1/50	678.1	1956	1/30	633	1971	1/25	580	1980	1/20	543	1970	1/15	R3 新潟県水文統計資料-年間
最大連続干天日数 (日)	134	1977	1/500	129	1978	1/500	112	1976	1/500	60	1953	1/500	55	1994	1/500	R3 新潟県水文統計資料-年間

3. 海 象
該当なし

第2節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(1) 地 形

本地区は、主に東から西に向かって傾斜している。最急勾配1/25、最緩勾配1/1,620、平均地形勾配約1/80、標高35.16～17.59mとなっている。

(第4表－1－1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考
	傾斜 区分	1/1000 未満	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
区画整理	面積 (ha)	1.7	6.3 5.5	15.3 15.2	—	—	23.3 22.4	1.4	—	—	—	—	—	—	1.4	35.16	17.59	
	比率 (%)	7.3 7.6	27.0 24.5	65.7 67.9	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0			

(2) 土 壌

(第4表－1－2)

土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名		
	色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層			区画整理	計	
					表土	下 層 土							
					一層	二層	三層						
D31 強グライ土壌－強粘土斑鉄型	灰	－	－	含む	LiC	LiC	LiC	グライ層0～100	沖積	非固結堆積岩	23.8	23.8	現況
計											23.8	23.8	

(3) 侵食の程度 該当なし

2. 土地分類
該当なし

3. 土地利用の状況

(R8 年 3 月現在)
(R5年8月現在) (第 4 表－ 3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 放 草 牧 地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 の 樹 園 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
区 画 整 理	柏崎市	23.3 22.4	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8 3.7	28.5 27.5	
計		23.3 22.4	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8 3.7	28.5 27.5	

4. 土地所有の状況

令和8年6月現在
令和5年10月現在 (第 4 表－ 4)

事業名	所有別 区 分	個 人 有			土地改良区有	市町村有	県 有	国 有	計	備 考
区 画 整 理	面 積 (ha)	24.7 23.8	—	24.7 23.8	— (40 m ²)	3.8 3.7	—	—	28.5 27.5	重複あり
	受益者数 (人)	82 84	—	79 83	—	—	—	—	82 84	重複あり
	筆 数 (筆)	514 499	—	491 494	— 2	298 281	—	—	812 782	重複あり
	権 利 関 係	所有権	使用貸借権	中間管理権	所有権	所有権	—	所有権		
	備考 (関係戸数)	82 84	—	79 83	—	—	—	—	82 84	重複あり

第3節 水利状況

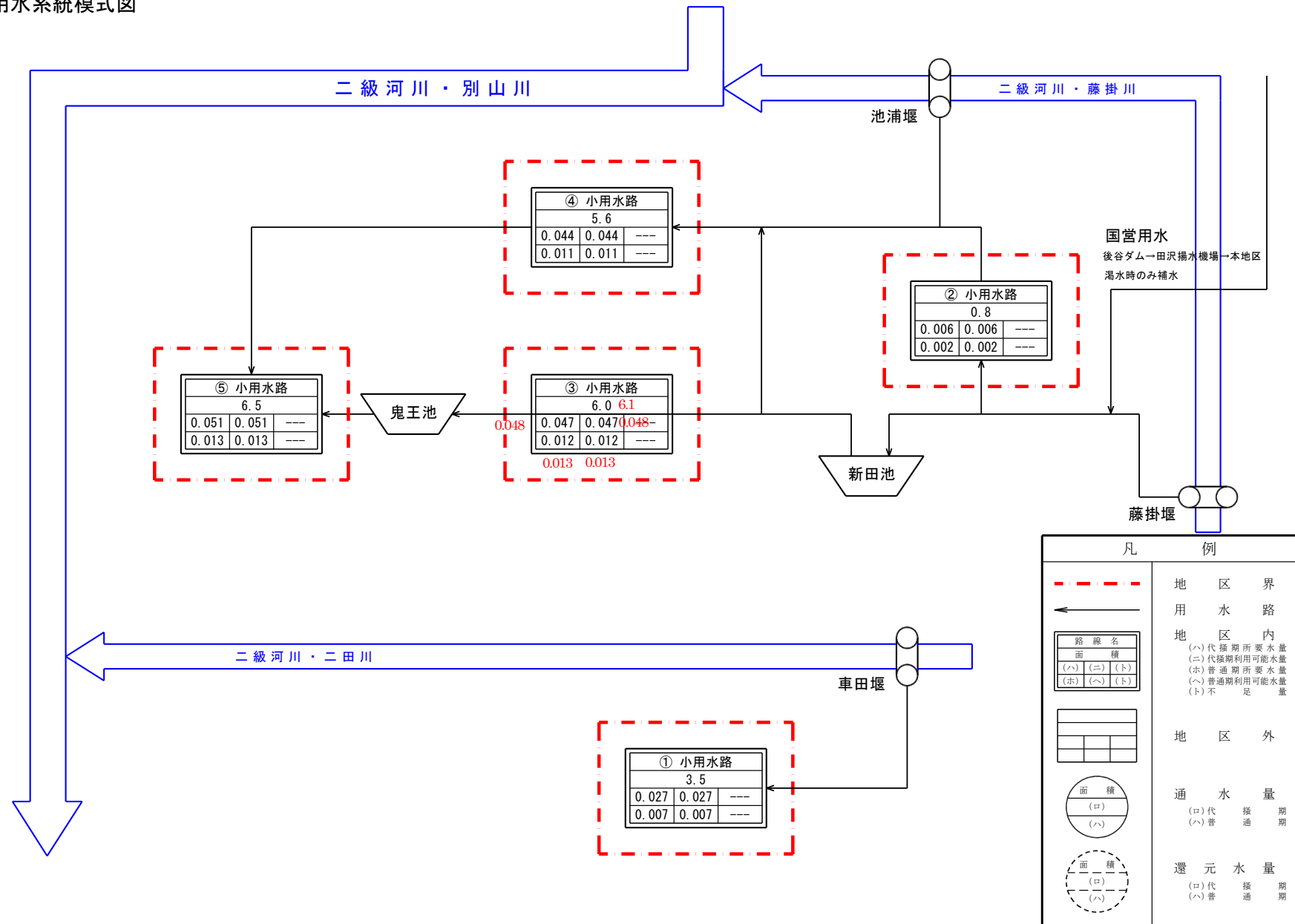
1. 用水状況

本地区の用水は国営用水受益の有無で大きく2系統に分かれている。二田集落は国営用水受益の範囲外で二級河川二田川より取水しており、池浦・礼拝集落は国営用水受益の範囲内で、二級河川藤掛川の藤掛頭首工、池浦堰より取水しているが、河川の流量が乏しく取水量が不安定なことから、用水が不足する際は後谷ダムより二級河川別山川へ注水し灰爪頭首工より取水した後、田沢揚水機場よりポンプ圧送して本地区へ補水している。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図のとおり。

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	か ん が い 面 積						計		許 可 水 利 権		慣 行 水 利 権		延べ取水量	備 考
		500ha 以上		500ha～100ha		100ha 未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s		
区画整理	貯 水 池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	井 堰	—	—	—	—	2	22.5 22.4	2	22.5 22.4	1	0.035	3	0.408	0.443	
	自然取入口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	揚 水 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計		—	—	—	—	2	22.5 22.4	2	22.5 22.4	1	0.035	3	0.408	0.443	

(イ) 改修を要する施設一覧表
該当なし

(3) 用水に関する被害状況
該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況
該当なし

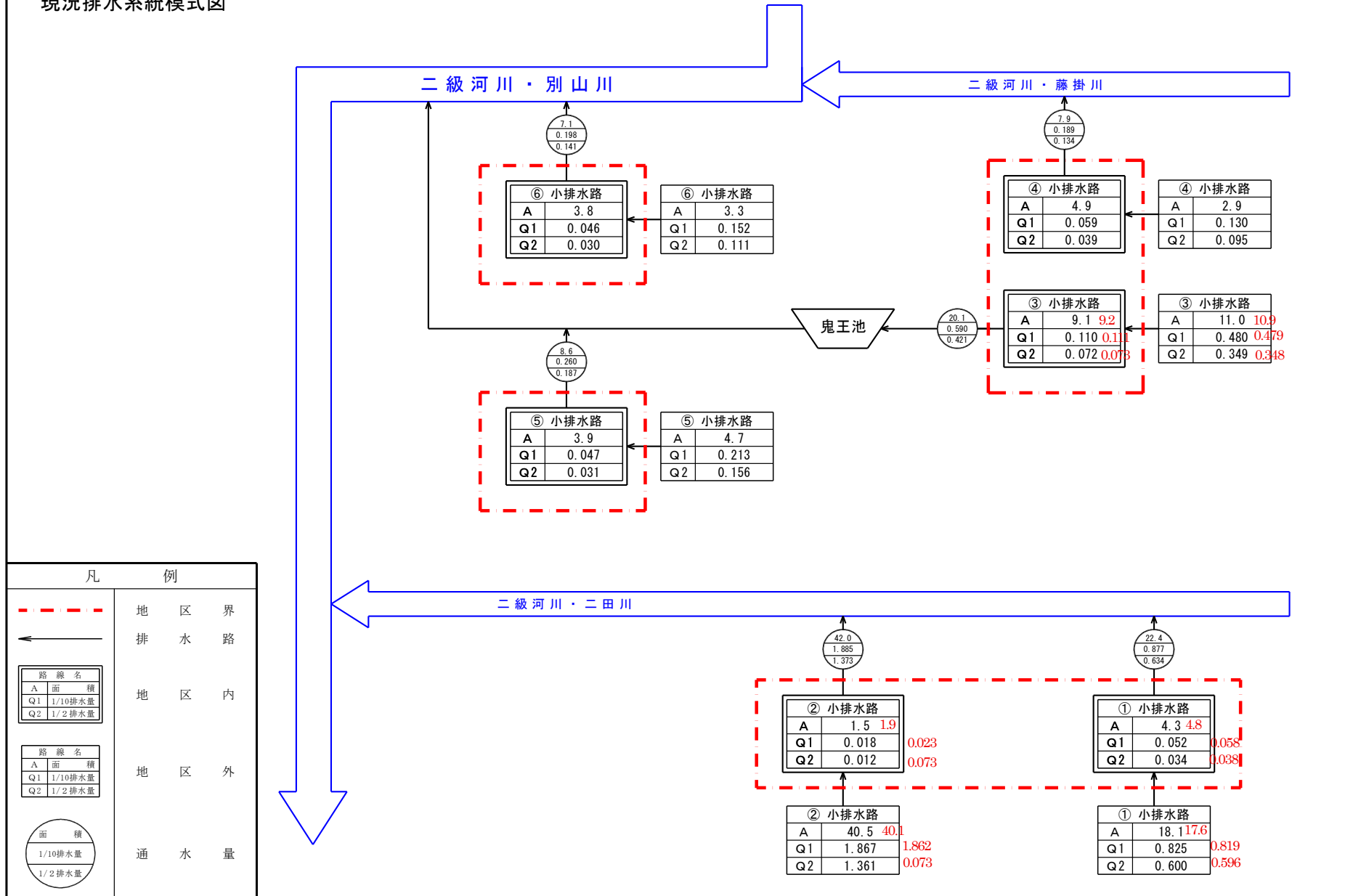
2. 排水状況

排水は、二級河川別山川、二級河川藤掛川、二級河川二田川へ自然排水している。

(1) 排水系統

現況排水系統模式図のとおり。

現況排水系統模式図



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目 施 設 名		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備 考
			500ha 以上		500ha～100ha		100ha 未満						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
区画整理	自然	排 水 路	—	—	多数	108.0	—	—	多数	108.0	3.999	3.999	
		水 門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	機械	排 水 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計			—	—	多数	108.0	—	—	多数	108.0	3.999	3.999	

(イ) 改修を要する施設の一覧表
該当なし

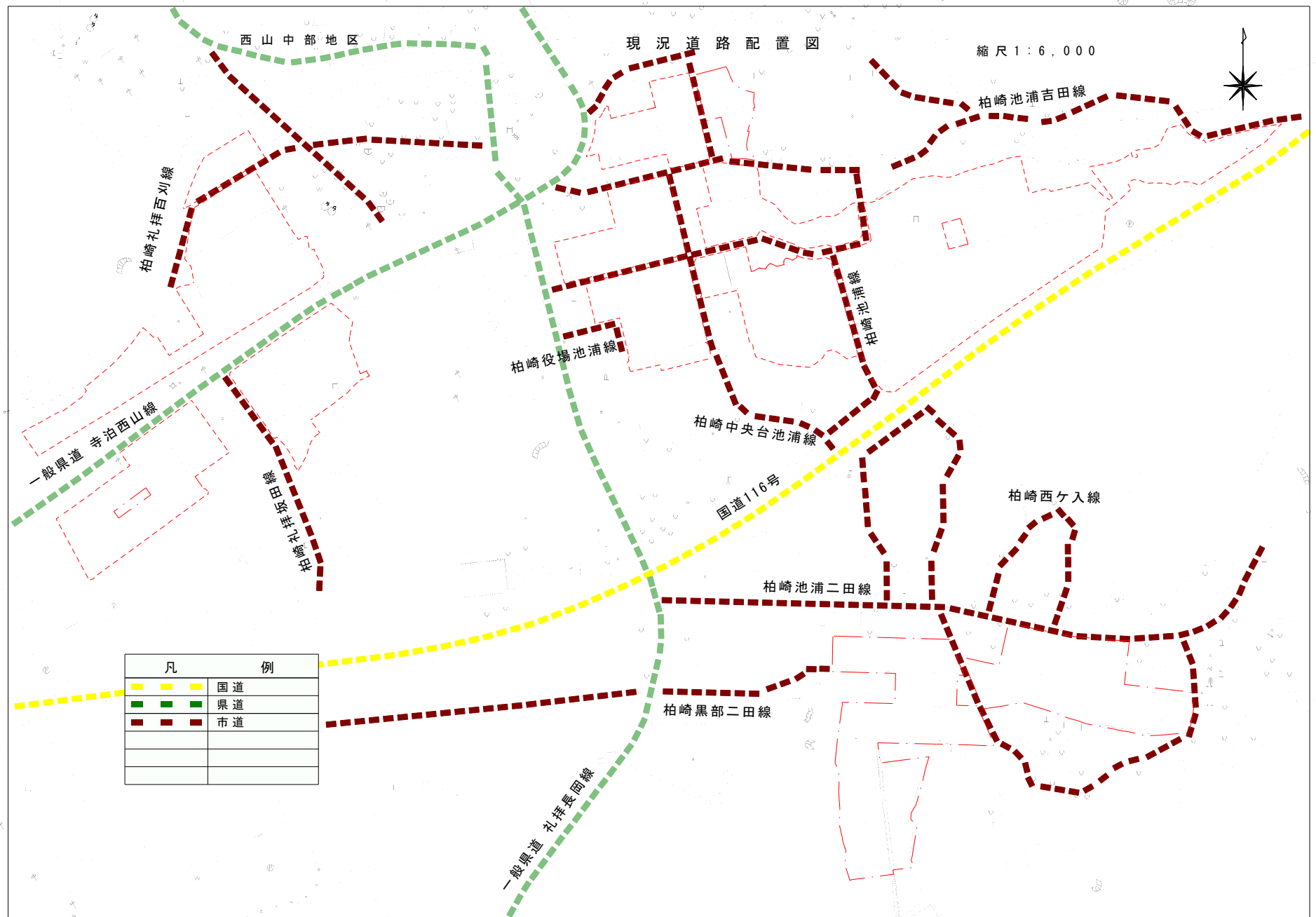
(3) 排水に関する被害状況
該当なし

3. 河川状況
該当なし

第4節 道 路 概 況

1. 道路概況

本地区は、東西に国道 116 号、南北に一般県道礼拝長岡線が通り交通の要となっている。
現況道路配置図のとおり。



2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路 線 名	管理区分別	延 長 (km)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
一	農 道	土地改良区	4.4	3.0	2.0	砂利	要	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(R2年 国勢調査) (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売 小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産 業 (人)	サービス 業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
柏崎市	40,330	1,103	28	36	68	4,891	9,207	1,323	1,534	5,193	546	341	14,807	1,253	—	
計	40,330	1,103	28	36	68	4,891	9,207	1,323	1,534	5,193	546	341	14,807	1,253	—	
比率 (%)	100.0	2.7	0.1	0.1	0.2	12.1	22.8	3.3	3.8	12.9	1.4	0.8	36.7	3.1	—	

2. 経営耕地広狭別経営体数及び耕地の分散状況並びに経営体別農家数

(R2年 農林業センサス) (第7表-2)

区分 市町村名	経営 体数 (経営体)	経営耕地広狭別経営体数 (経営体)											1経営体当たり平均 農用地面積 (ha)						耕地の 分散状況		農業経営体数 (経営体)			備考
		例外 規定の 適用を 受ける もの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一経営 体当 たり 団地 数	団地 当 たり 面 積 (ha)	個人 経営 体	団体 経営 体 (法人)	団体 経営 体 (非法人)	
柏崎市	1,040	14	164	312	151	68	91	92	63	47	38	—	3.26	0.07	0.01	3.34	0.00	3.34	—	—	970	53	17	
計	1,040	14	164	312	151	68	91	92	63	47	38	—	3.26	0.07	0.01	3.34	0.00	3.34	—	—	970	53	17	
比率 (%)	100.0	1.3	15.8	30.0	14.5	6.5	8.8	8.8	6.1	4.5	3.7	—	97.6	2.1	0.3	100.0	0.0	100.0	—	—	93.3	5.1	1.6	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(R2年 農林業センサス) (第7表-3)

市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	耕うん機		トラクター		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		鶏		
	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (頭)	経営 体数 (経営体)	数量 (頭)	経営 体数 (経営体)	数量 (頭)	経営 体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営 体数 (経営体)	
柏崎市	—	—	—	—	—	—	—	—	116	3	37	4	—	—	x	2	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	116	3	37	4	—	—	x	2	
100 経営体当たり数量 (台・頭)	—		—		—		—		11.2		3.6		—		x		
利用経営体数割合 (%)	—		—		—		—		0.3		0.4		—		0.2		

4. 主要作物作付状況

(R2～3年、R3～4年 北陸農林水産統計年報) (第7表-4)

市 町 村 名			柏崎市		—		—		計	作 付 率 (%)	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			4,980		—		—		4,980		
総 本 地 面 積 (ha)			4,696		—		—		4,696		
区 分 作物名			作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)		
田	表 作	水 稻	3,080	538	—	—	—	—	3,080	97.4	令和 2 年度のデータ で統一。
	表 作	大 豆	59	95	—	—	—	—	59	1.9	
	表 作	そ ば	24	38					24	0.7	
	小 計		3,163	—	—	—	—	—	3,163	100.0	
畑	春夏作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	秋冬作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小 計		—	—	—	—	—	—	—	—	
樹園地	—		—	—	—	—	—	—	—	—	
	—		—	—	—	—	—	—	—	—	
	小 計		—	—	—	—	—	—	—	—	
計			3,163	—	—	—	—	—	3,163	100.0	
市町村別延べ作付率 (%)			100.0		—		—		100.0	—	

5. 農業の動向

(H22～R2年 農林業センサス) (第7表－5)

項目 区分	経営体			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の 状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	72	52	耕地	86	114	水 稲	104	110	乳用牛	64	44	自 動 耕うん機	—	—	農業振興地域 (指定) S46. 10. 4 (認可) S49. 4. 30	A: 令和2年 (2020) B: 平成27年 (2015) C: 平成22年 (2010)
	個人経営体数	72	50	田	87	115	イモ類	200	200	肉用牛	x	54	トラクター	75	—		
	団体経営体数 (法人数)	114	123	畑	75	80	豆 類	81	67	豚	0	0	コンバイン	71	—		
	団体経営体数 (非法人数)	60	170	樹園地	100	113	野菜類	153	x	鶏	x	x	動力 田植え機	70	—		
	農 業 従 事 者 数	64	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
変化の 理由	農業情勢の変化			農業情勢の変化			食生活の変化			食生活の変化			機械の大型化				

第6節 地域環境の概況

1. 植物・動物等生態系の概況

令和4年5月24日に行われた『生きもの調査』から地区内及び周辺地域においては、

魚 類：ヨシノボリ、ドジョウ、シマドジョウ

甲殻類：スジエビ、ヨコエビ

昆虫類：オオコオイムシ、ガムシ

貝 類：タニシ、カワニナ

両生類：トノサマガエル

トンボ類：アカトンボ、ギンヤンマ、オニヤンマ、オオヤマトンボ

いずれも、河川、水路、湿地等を生息・繁殖環境とする生き物である。

2. その他、地域環境の概況

柏崎市は、“三階節”で名高い米山をはじめ、黒姫山・八石山の秀麗な山々を背景とし、水平線上はるかに佐渡島を望み、美しい日本海など風光明媚な街である。市のほぼ中央部を二級河川である鶴川が小支流を合わせて、また二級河川鯖石川が北部から流下してくる二級河川別山川と合流し日本海に注いでいる。この3河川の下流域には、柏崎・刈羽平野が開け、水田地帯を形成している。

本地区は刈羽村に隣接し平成17年5月に合併した旧西山町の中央部に位置し、地区の北側に国道116号及びJR越後線、南側に二級河川和田川に囲まれた約13haの耕地であり、水稻を基幹作物とする中間農業地域である。

また、柏崎市農村環境計画において「しぜん・歴史文化共存エリア・里山・中山間農業ゾーン」に区分しており、四季折々の豊かな自然に適応した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全に努めている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

23.7

本計画は、県営区画整理事業 22.8haを施行し区画整理によるほ場の大区画化及び汎用化を図る。これにより、農地の集積、経営規模の拡大をするとともに高収益作物の栽培による安定した農業経営を確立するものである。

区画割は、将来の営農体系等を勘案して、0.5ha区画（長辺125m×短辺40m）を基本とし整備を行う。道路計画は支線道路として全幅5.0m（有効幅員4.0m）の敷砂利舗装を基本とする。用水計画は、水の有効利用及び水管理の合理化を図るために用排分離による開水路及び管

23.7

水路形式とする。排水計画は地区外の流入があるため開水路形式とする。また、ほ場の汎用化を計画することから、区画整理22.8haで暗渠排水を計画する。

2. 事業別面積

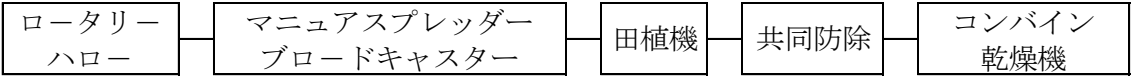
（第8表）

事業名 土地利用 区分 事業目的	区 画 整 理						計 (ha)	備考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	道 水 路 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
区画整理	21.6 21.5	2.1 1.3	—	4.8 4.7	—	28.5 27.5	28.5 27.5	
計	21.6 21.5	2.1 1.3	—	4.8 4.7	—	28.5 27.5	28.5 27.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

- a) 経営方式 水稻転作複合 主食用米 + 加工用米 + たまねぎ、えだまめ、さといも
- b) 経営組織 個別経営体による効率的な複合営農の実現を図る。
- c) 作業体系（水稻） 耕起整地 → 基 肥 → 植 付 → 除草防除 → 収穫調製



2. 土地利用区分

(第9表－1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	道路	水路	山林原野	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況	23.3 22.4	1.4	—	—	—	—	24.7 23.8	1.9 1.8	1.9	—	0.0	28.5 27.5	
	計画	21.6 21.5	2.1 1.3	—	—	—	—	23.7 22.8	2.4 2.3	2.4	—	0.0	28.5 27.5	
計	現況	23.3 22.4	1.4	—	—	—	—	24.7 23.8	1.9 1.8	1.9	—	0.0	28.5 27.5	
	計画	21.6 21.5	2.1 1.3	—	—	—	—	23.7 22.8	2.4 2.3	2.4	—	0.0	28.5 27.5	

3. 作付方式

(第9表－2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	作物名	1年目												2年目												3年目												備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区画整理	現況	水稻 転作 複合	田	主食用米				○	○	△	△						×	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

○:播種 △:定植 ×:収穫

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用 区分		作物名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり 収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減の内 訳 (t)		備 考
				現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増 減	単位面積 当たり収量 増 加	
区画整理	水田	表作	主食用米	17.5 16.6	15.5 15.4	△2.0 △1.2	72.6 71.5	67.1 69.4	510	551	41	89.3 84.7	85.4 84.9	△3.9 0.2	△10.2 △6.1	6.3	
		表作	加工用米	—	1.9	1.9	—	8.2 8.5	—	546	—	—	10.4	10.4	10.4	—	
		表作	たまねぎ	0.2	2.5	2.3	0.8 0.9	10.8 11.3	1,409	1,620	211	2.8	40.5	37.7	32.4	5.3	
		表作	えだまめ	—	1.1	1.1	—	4.8 5.0	—	297	—	—	3.3	3.3	3.3	—	
		表作	自家用野菜	0.5	—	△0.5	2.1 2.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		表作	調整水田	4.5	—	△4.5	18.7 19.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	普通畑	表作	たまねぎ	—	0.5	0.5	—	2.2	—	1,409	—	—	7.0	7.0	7.0	—	
		表作	えだまめ	—	1.2 0.4	1.2 0.4	—	5.2 1.8	—	297	—	—	3.6 1.2	3.6 1.2	3.6 1.2	—	
		表作	さといも	—	0.4	0.4	—	1.7 1.8	—	936	—	—	3.7	3.7	3.7	—	
		表作	自家用野菜	1.4	—	△1.4	5.8 6.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計			24.1 23.2	23.1 22.2	△1.0	100.0	100.0									
	合 計			24.1 23.2	23.1 22.2	△1.0	100.0	100.0									

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備 考
	区 分			現 況	計 画	増 減		
区画整理	水田	【担い手】 水稲	9.1	人 力	31.9	14.1	△ 17.8	担い手現況：湿田 10 a 区画 計画：乾田 30 a 区画
			9.0	機械力	15.9	7.2	△ 8.7	
		【個別→担い手】 水稲	8.3	人 力	47.6	14.1	△ 33.5	担い手現況：湿田 10 a 区画 計画：乾田 30 a 区画
				機械力	21.5	7.2	△ 14.3	
		【担い手】 たまねぎ	2.5	人 力	112.2	30.7	△ 81.5	担い手現況：湿田 10 a 区画 計画：乾田 30 a 区画
				機械力	22.8	11.0	△ 11.8	
	計		19.9 19.8					

6. 級地別土地利用区分

該当なし

7. 土地配分計画

該当なし

第3節 用 水 計 画

1. 計画基準年

基 準 年：昭和49年

決定理由：国営かんがい排水事業 柏崎周辺地区による。

2. 計画かんがい方式

a) かんがい期間

水 田（水稻）：4月21日～8月31日（代掻き4月21日～4月30日） 計 133日

b) かんがい方式

水 稻：一筆毎の田面貯留方式

畑作物：畝間かんがい

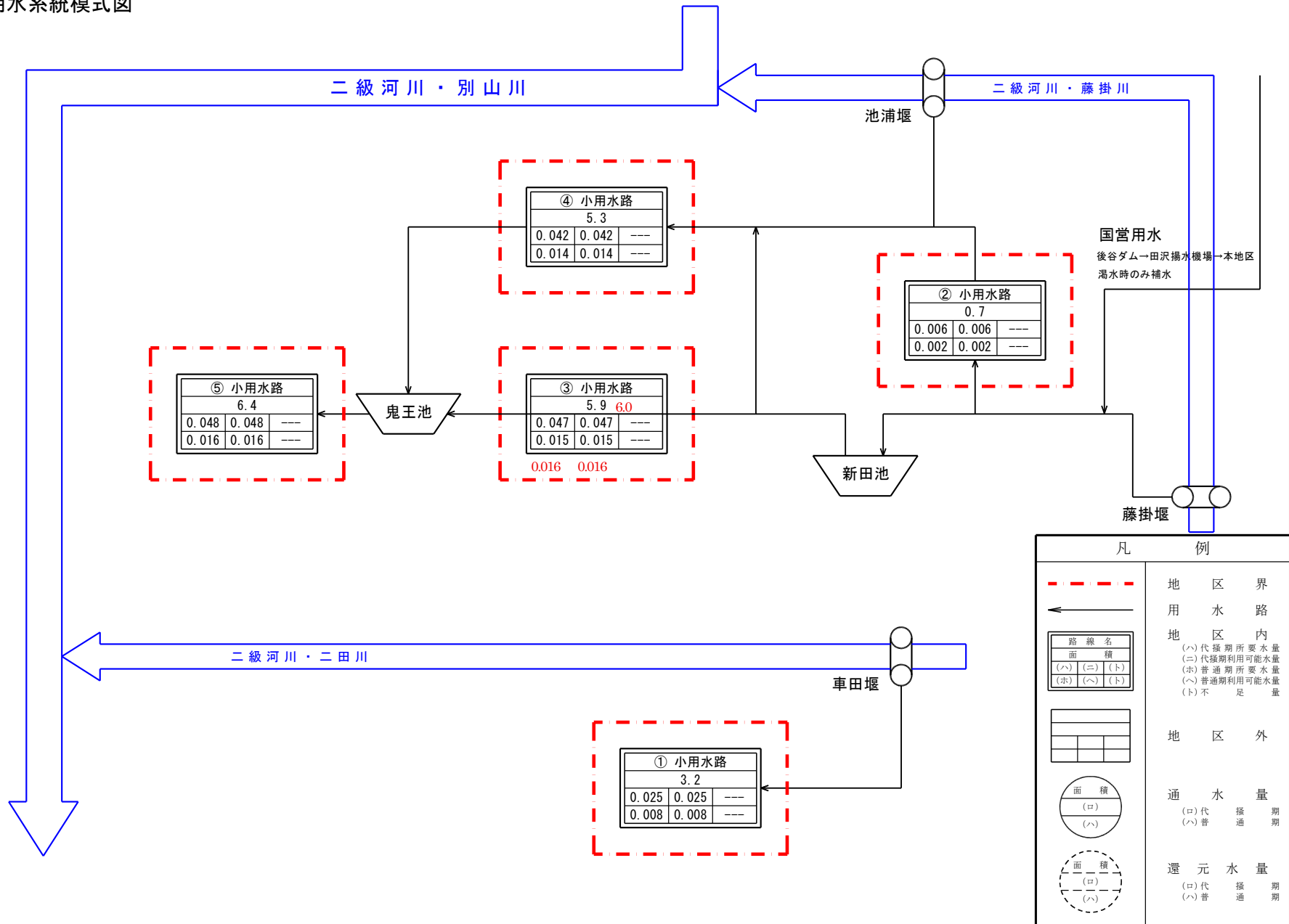
3. 計画用水系統

本地区の用水は国営用水受益の有無で大きく2系統に分かれている。二田集落は国営用水受益の範囲外で二級河川二田川より取水しており、池浦・礼拝集落は国営用水受益の範囲内で、二級河川藤掛川の藤掛頭首工、池浦堰より取水しているが、河川の流量が乏しく取水量が不安定なことから、用水が不足する際は後谷ダムより二級河川別山川へ注水し灰爪頭首工より取水した後、田沢揚水機場よりポンプ圧送して本地区へ補水している。また、用水路の大半はコンクリート二次製品水路となっているものの、造成後約60年が経過していることから、漏水や水路勾配の不陸が著しく、下流への配水に苦慮している。更に、用排水が分離されておらず、上下流域間での用水管理が複雑で非常に使い勝手が悪く、時には下流域において不足が生じている状況である。

このことから、本事業において用水損失を抑え用水の適正かつ合理的な配分を行い、効率的な農業経営を行うために用水施設の整備を行うものである。

計画用水系統模式図のとおり。

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表－1)

系統名	項目	面積 (ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m³/s)	損失 率 (%)	粗用水量		備考		
		事業名		普通期	代かき期	面 積	1 日当たり 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	1 日当たり 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	計画平均 単位用水量 (mm/日)	面 積 (ha)			平均 (m³/s)	最大 (m³/s)			
		区 画 整 理	計																		
																				計画平均 単位用水量 (mm/日)	計画代かき 単位用水量 (mm)
二級河川 別山川	農業 用水	23.7 22.8	23.7 22.8	12.7	150	16.6 16.5	5	3	5.0	5	3	2.1 1.3	—	—	0.155	10～ 15	0.172	0.172			
計		23.7 22.8	23.7 22.8	—	—	16.6 16.5	—	—	5.0	—	—	2.1 1.3	—	—	0.155	10～ 15	0.172	0.172			

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表－2)

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可 能 量	純不足 水 量	全不足 水 量	水源名	水 量		
		a (千m³)	b (千m³)	c = a - b (千m³)	d=c/(1-α) (千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g = c - f (千m³)	h = d - e (千m³)		(千m³)		損失率 : α
区画整理	水田かんがい	493	—	493	548	二級河川 別山川	548	548	—	—	二級河川 別山川	548	河川	10%
	計	493	—	493	548		548	548	—	—		548		—

(2) 用水対策

(ア) 貯水池
該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口
該当なし

(ウ) 揚水機
該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)		最大通水量	延 長	構 造	備 考
	事 業 名					
	区画整理	計	(m³/s)	(km)		
小用水路（開水路）	15.2 15.1	15.2 15.1	0.120	3.4	BF300～BF500 型	
小用水路（管水路）	6.4	6.4	0.048	1.2	硬質塩ビ管 Φ125～200mm	
計	21.6 21.5	21.6 21.5	—	4.6		

(オ) その他の水源施設
該当なし

(3) 水温水質
該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

○基準雨量：最大日雨量 130.3mm（1/10確率） 気象庁柏崎観測所の時間雨量及び日雨量から算出
最大日雨量 85.1mm（1/2確率） //

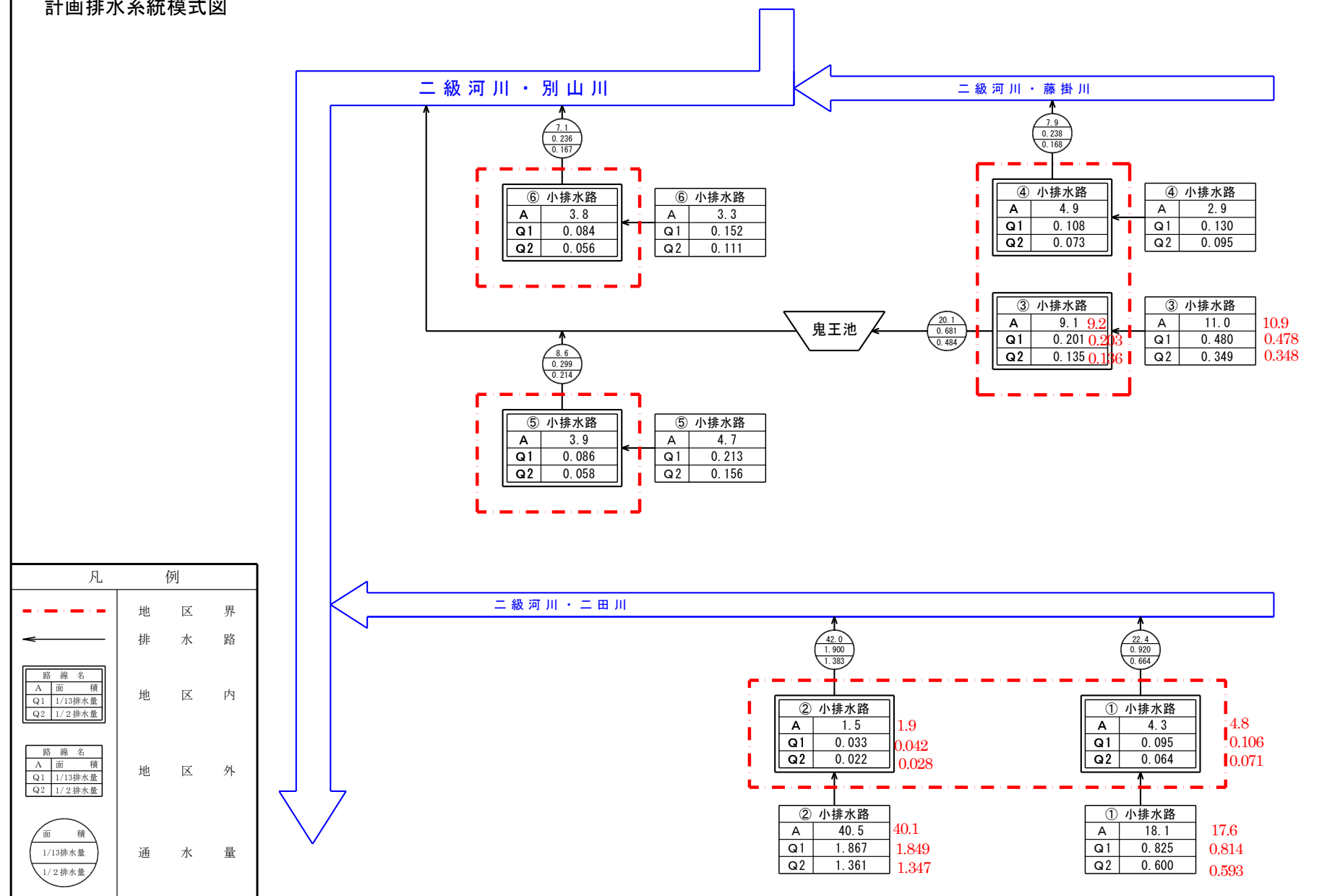
2. 計画排水方式

開水路（排水フリーム）による自然排水方式。

3. 計画排水系統

本地区の排水系統は現況と同様に、地区内小排水路及を経て全て二級河川別山川、二級河川藤掛川、二級河川二田川へ自然排水される。
計画排水系統模式図のとおり。

計画排水系統模式図



4. 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	項目		受 益 面 積 (ha)		流 域 面 積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全 排 水 量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ / s /km ²)		備 考
	事 業 名		平 地									山 地					
	区画整理	計	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地	自然排水	機械排水		山 地	平 地			
二級河川・別山川	23.7 22.8	23.7 22.8	0.013	0.792	—	4.61	2.21	—	—	3.651	0.623	—	4.61	2.21			
計	23.7 22.8	23.7 22.8	0.013	0.792	—	—	—	—	—	3.651	0.623	—	—	—			

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計 画 排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名					名 称	計 画 洪水 量 (m ³ /s)	計 画 洪水 位 (m)	
		区画整理	計							
小排水路 (開水路)	0.003～0.335	23.7 22.8	23.7 22.8	0.011～1.544	4.0	HF300×300～1000×1000 型	—	—	—	
計	1.080	23.7 22.8	23.7 22.8	—	4.0		—	—	—	

※各路線毎に流域面積、受益面積を表記しているので合計は整合しない。

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道 路 計 画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表－1)

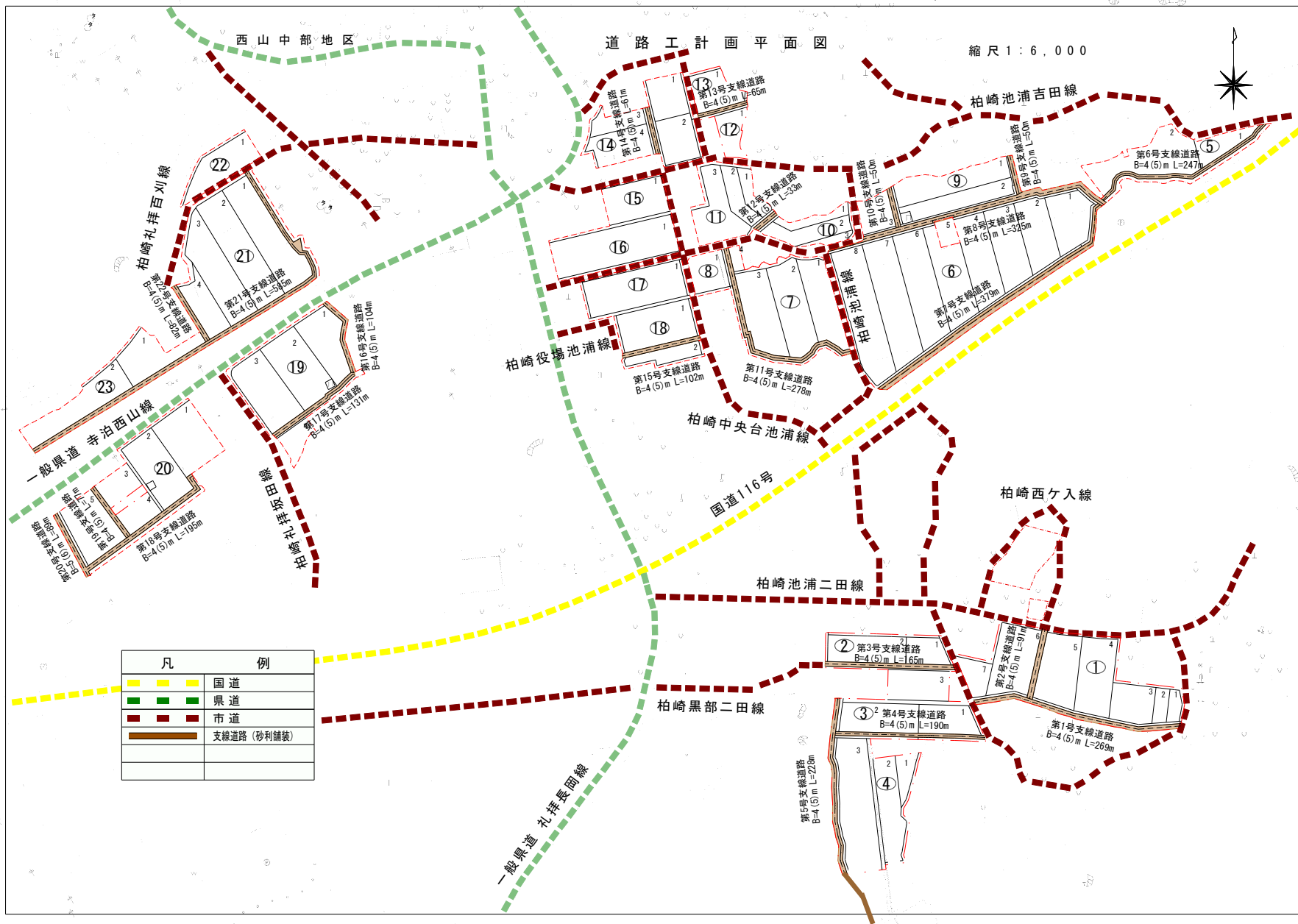
項 目 路線名	幅 (有効) (m)	× 延 長 (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路	5.0 (4.0)	× 0.4	道路高0.3m～、側法 1:1.0～、 敷砂利舗装、流用土	市道、農道と接続	新設
支線道路	5.0 (4.0)	× 3.4	〃	〃	改良

(2) 索道

該当なし

2. 路線配置図

道路工計画平面図のとおり



第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
125×40	0.5 ～	5.6 6.1	24.6 25.7	平均0.64	
標準以外	0.3 ～ 0.5	13.8 13.4	60.5 56.6	平均0.64	
不整形	～ 0.3	3.4 4.2	14.9 17.7	平均0.64	
計		22.8 23.7			

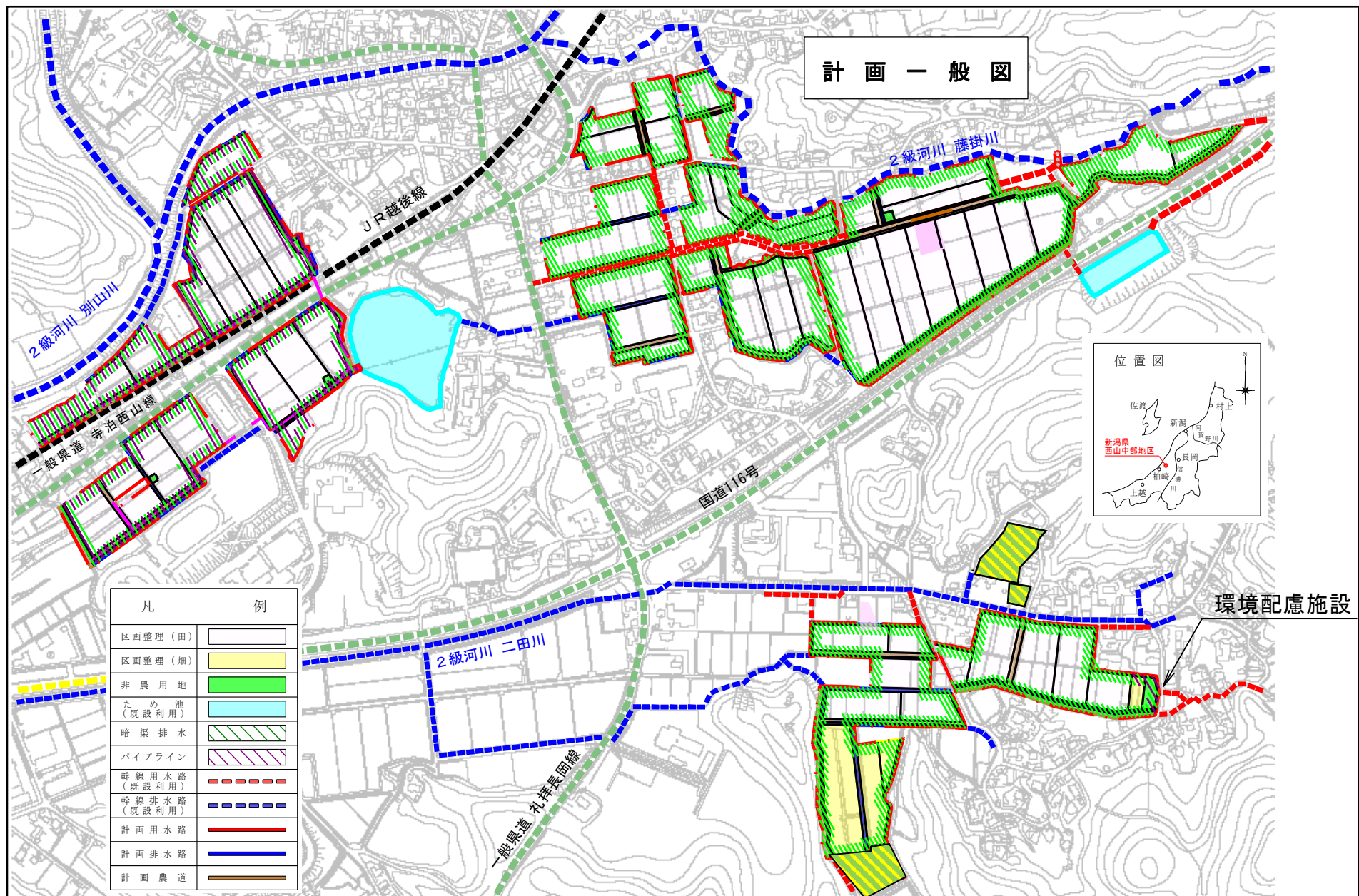
(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m³)	備考
23.7 22.8	要：土壌調査の結果及び基盤切盛を行うため	15	35,550 34,200	

(3) 末端道水路配置図

計画一般図のとおり



2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

土壌調査結果より、排水対策が必要であることから暗渠排水を行う。

(第 16 表－3－1)

区 分 項 目		面 積 (ha)			土壌統（区）名	基準雨 量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{\text{mm}}{\text{s}}/\text{ha}$)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備 考
		事 業 名								
		区画整理	—	計						
田	D31	21.6 21.5	—	21.6 21.5	D31 強グライ土壌－強粘土斑鉄型	50	5.8	0.50	自然排水	
	小計	21.6 21.5	—	21.6 21.5						
畑	D31	2.1 1.3	—	2.1 1.3	D31 強グライ土壌－強粘土斑鉄型	50	5.8	0.50	自然排水	
	小計	2.1 1.3	—	2.1 1.3						
計		23.7 22.8	—	23.7 22.8						

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客 土

該当なし

4. 農地保全

該当なし

第 10 節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池
該当なし
2. 頭首工
該当なし
3. 揚水機
該当なし

4. 用水路

(第17表-3)

水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m³/s)	延長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名			開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理	計								
小用水路（開水路）	15.2 15.1	15.2 15.1	0.120	3.4	—	3.4	BF300～BF500 型	1/100	田区取水工	
小用水路（管水路）	6.4	6.4	0.048	—	1.2	1.2	硬質塩ビ管Φ125～200mm	1/100	田区取水工	
計	21.6 21.5	21.6 21.5	—	3.4	1.2	4.6		—		

5. その他かんがい施設
該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門
該当なし

2. 排水機
該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水路名	受益面積 (ha)		排 水 量 (m^3/s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名			開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理	計								
小排水路（開水路）	23.7 22.8	23.7 22.8	0.011～ 1.544	4.0	—	4.0	HF300×300～ 1000×1000 型	1/100 ～1/700	田区排水工	
計	23.7 22.8	23.7 22.8	—	4.0	—	4.0		—		

4. その他排水施設
該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表－1)

項目 区分	路 線 名	幅 (有効) × 延長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
支線道路	第1種 支線道路	5.0 × 0.4 (4.0)	道路高0.3m～、側法 1:1.0～、 敷砂利舗装、流用土	取付道路工 田区進入路工	—	14 66	—	—	—	新設
〃	第2種 支線道路	5.0 × 3.4 (4.0)	〃	〃	—	3 4	—	—	—	改良
計		3.8		—	—	—	—	—	—	

(2) 道路主要構造物
該当なし

2. 索 道
該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
水 田	21.6 21.5	0.3～1.0ha	—	21.6 21.5	32,400 32,250	
畑	2.1 1.3	—	—	2.1 1.3	3,150 1,950	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
小用水路（開水路）	3.4 km	0.120 (m ³ /s)	BF300～BF500 型	
小用水路（管水路）	1.2 km	0.048 (m ³ /s)	硬質塩ビ管Φ125～200mm	
計	4.6 km	—		

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
小排水路（開水路）	4.0 km	0.003～0.335 (m ³ /s)	HF300×300～1000×1000 型	
計	4.0 km	—		

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)		集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の 排水施設			備考
	事 業 名															
	区画整理	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名 称	構 造	数量 (m/ha)	
D31	23.7 22.8	23.7 22.8	1/300	素焼陶管 塩ビ管	φ 75~100	144	1/500	素焼陶管	φ 75	0.60	7.5	1,170	自然排水	HF、塩ビ管	—	
計	23.7 22.8	23.7 22.8														

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客土

該当なし

4. 除礫

該当なし

5. 農地保全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手	令和6年度
完了予定	令和14年度

第8章 環境との調和への配慮

第1節 保全対象種の設定

令和4年5月24日に行われた『生きもの調査』から地区内及び周辺地域においては、魚類：【ヨシノボリ、ドジョウ、シマドジョウ】、甲殻類：【スジエビ、ヨコエビ】、昆虫類：【オオコオイムシ、ガムシ】、貝類：【タニシ、カワニナ】、両生類：【トノサマガエル】、トンボ類：【アカトンボ、ギンヤンマ、オニヤンマ、オオヤマトンボ】が確認された。

いずれも、河川、水路、湿地、泥地等を生息・繁殖環境とする生き物である。

本地区においては、ドジョウを保全対象種に設定する。

第2節 整備する環境条件と実施するエリア

柏崎市農村環境計画において「しぜん・歴史文化共存エリア・里山・中山間農業ゾーン」に区分しており、四季折々の豊かな自然に適応した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全に努めている。

第3節 配慮の計画内容

本地区は、事業実施により想定される影響を考慮し以下の配慮計画とする。

◇現況と同等の生息環境・繁殖空間を確保する。【代償】【修正】

◇現況の道水路配置を基本とした区画計画であることから、土砂の移動が極力少なく工事期間の短縮を図る。【最小化】【影響の軽減】

◇環境負荷の低減を意識しながら、材料や機材の選定、工作機器や車両の操作、運転に努める。工期の短縮化、施工ヤードは最小化等工事のコンパクト化を図る。【最小化】【影響の軽減】

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本事業の趣旨を踏まえ、関係農家の農用地の集団化を進め、農業経営の合理化及び近代化を図り、地域農業の発展に資するよう換地計画を樹立するとともに、担い手農家及び農業生産法人への農地集積の必要性等の啓発に努め、事業実施に合わせ計画的に農地中間管理機構を活用し農用地の集積・集約化を促進する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全換地区	新潟県柏崎市西山町池浦・西山町二田・西山町礼拝・西山町藤掛	28.5 27.5

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記地積とする。ただし、換地設計基準確定の日から3か月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士が測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合には、その申出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位 : ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者)		非農用地区域以外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一 般 国 公 有 地	総 合 計		
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行地域に含める土地 (令第1条の9()書き)			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他			合 計	
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等									
換地区名	前 後	23.3 22.4	1.4	—	—	— (40㎡)	—	— (40㎡)	24.7 23.8	—	—	—	—	24.7 23.8	—	(362㎡)	(362㎡)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8 3.7	3.8 3.7	—	28.5 27.5
全換地区	従前の土地	21.6 21.5	2.1 1.3	—	—	— (40㎡)	—	— (40㎡)	23.7 22.8	—	—	—	—	23.7 22.8	—	(362㎡)	(362㎡)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8 4.7	4.8 4.7	—	28.5 27.5
	換地	23.3 22.4	1.4	—	—	— (40㎡)	—	— (40㎡)	24.7 23.8	—	—	—	—	24.7 23.8	—	(362㎡)	(362㎡)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8 3.7	3.8 3.7	—	28.5 27.5
合 計	従前の土地	21.6 21.5	2.1 1.3	—	—	— (40㎡)	—	— (40㎡)	23.7 22.8	—	—	—	—	23.7 22.8	—	(362㎡)	(362㎡)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8 4.7	4.8 4.7	—	28.5 27.5
	換地																														

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全換地区	集落別集団化 集落ごとに耕作地の集団化を図るものとし、その団地の位置は、各集落の土地条件及び利用条件等を考慮し定める。 地目別・作物別集団化 この事業を機会に転作畑とする水田又は長期的に転作使用とする水田は、希望をとりまとめ、出来るだけ集団化する。 営農グループ別集団化 地域の担い手（個別担い手2戸）の育成及び確保を図るとともに、これらを団地化して効率的に機械作業等行えるよう、できるだけ経営農用地の面的な集積を積極的に進める。	各人の換地は、集落別に定められた集落換地の中において従前の土地条件を総合的に勘案して定める。	各農家の農地は、できるだけ大規模に集団化するものとし、1戸あたりの団地数は田で、おおむね1～2団地を目標とする。	原則として、固定畦畔とする。

4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

区分 換地区名	種類	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全換地区	送電線鉄塔用地	おおむね従前どおり	362	特定用途用地換地	従前の土地所有者	

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第 25 表－ 6)

区 分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
	令和 8 年度～令和 11 年度	令和 14 年度	令和 14 年度	

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

換地区内の区画形状の変更に係わる工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第 89 条の 2 第 10 項で準用する同法第 54 条第 2 項本文の規定にかかわらず、換地処分を行うことができるものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名 区分		区画整理 (千円)	(千円)	備考
主要工事		1,097,900 913,000		51,500 内地方事務費 28,000 千円 16,400 内工事雑費 15,000 千円 令和7年度単価 令和5年度単価
附帯工事		—		
計（総事業費）		1,097,900 913,000		
（参考） 関連事業				
	計	—		

単位：千円

事業名等	区分	工事費				工事雑費				地方事務費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
区画整理	負担率	62.5%	27.5%	10.0%	0.0%	—	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—
	負担金額	643,750 543,750	283,250 239,250	103,000 87,000	—	—	16,400 15,000	—	—	—	51,500 28,000	—	—
合計	負担率	62.5%	27.5%	10.0%	0.0%	—	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—
	負担金額	643,750 543,750	283,250 239,250	103,000 87,000	—	—	16,400 15,000	—	—	—	51,500 28,000	—	—

第 11 章 効 用

(第 27 表)

事業名等	区 分	項 目	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額 （千円）	備 考
区 画 整 理	作物生産効果		10,809 11,236	3,614 3,757	総費用（現在価値化） = 1,179,379 千円 1,225,933 千円
	営農経費節減効果		55,664 57,861	57,468 59,736	総便益（現在価値化） = 1,299,451 千円 1,350,745 千円
	維持管理費節減効果		△275 △286	△15 △16	1,350,745 千円
	耕作放棄防止効果		1	—	1,299,451 千円
	農業労働環境改善効果		2,662 2,767	—	1,179,379 千円
	景観・環境保全効果		763 793	—	1,225,933 千円
	国産農産物安定供給効果		2,849 2,961	—	0
	計		72,473 75,333	61,067 63,477	令和 7 年度単価 令和 5 年度単価
合 計	作物生産効果		10,809 11,236	3,614 3,757	総費用総便益比 = $\frac{1,350,745 \text{ 千円}}{1,299,451 \text{ 千円}} = 1.10$ 増加所得償還率 = $\frac{0}{61,067 \text{ 千円}} = -$
	営農経費節減効果		55,664 57,861	57,468 59,736	
	維持管理費節減効果		△275 △286	△15 △16	
	耕作放棄防止効果		1	—	
	農業労働環境改善効果		2,662 2,767	—	
	景観・環境保全効果		763 793	—	
	国産農産物安定供給効果		2,849 2,961	—	
	計		72,473 75,333	61,067 63,477	

第 12 章 関連する事業

該当なし

第 13 章 現況・計画図面

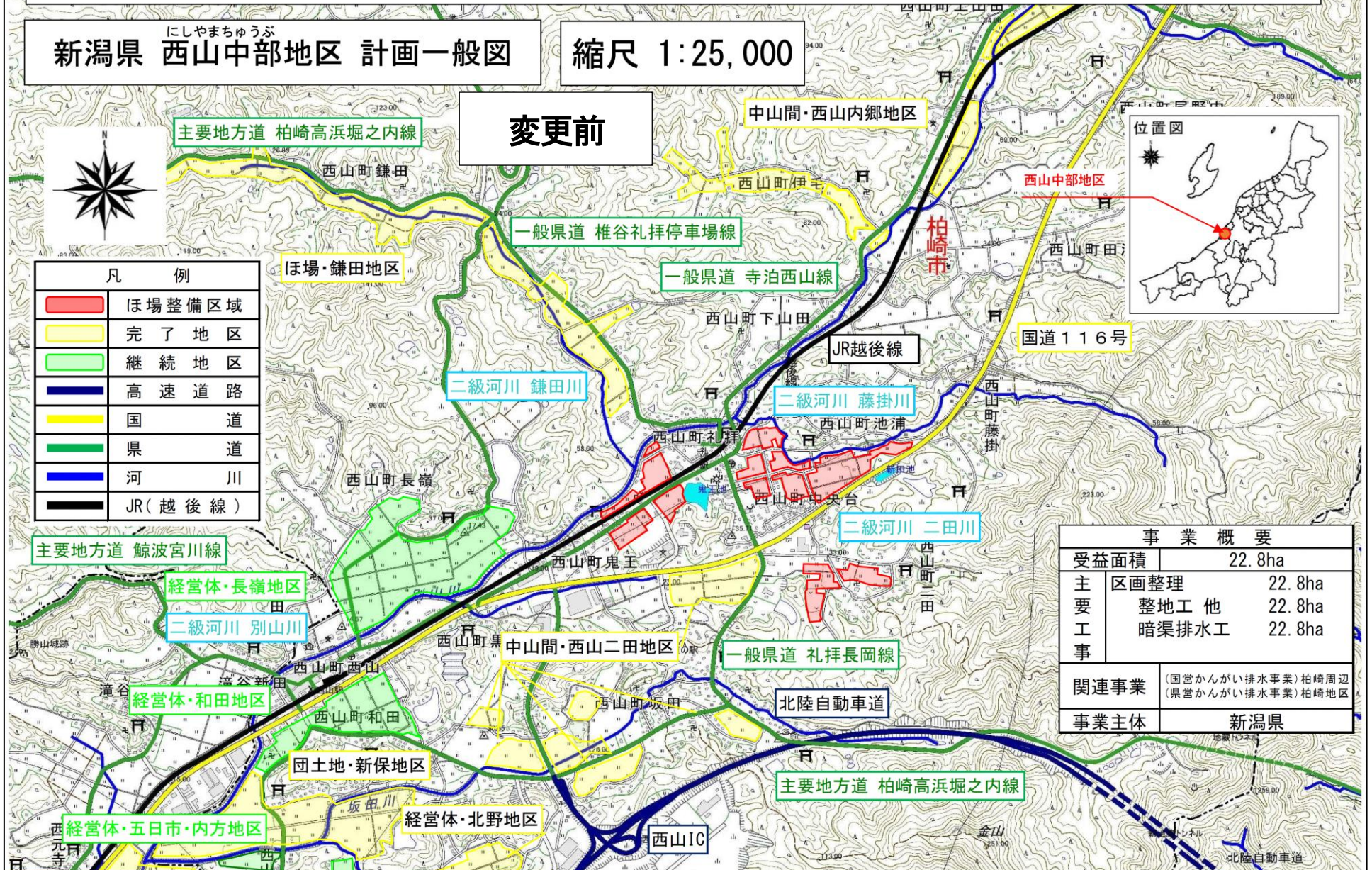
別紙 計画一般図のとおり

令和6年度 新規採択希望（着工地区）区画整理（経営体育成基盤整備「農地中間管理機構関連型」事業）

新潟県 西山中部地区 計画一般図

縮尺 1:25,000

変更前



令和6年度 新規採択希望（着工地区）区画整理（経営体育成基盤整備「農地中間管理機構関連型」）事業

新潟県 西山中部地区 計画概要図

縮尺 1:25,000

変更後

主要地方道 柏崎高浜堀之内線



凡 例	
	ほ場整備区域
	完了地区
	継続地区
	高速道路
	国 道
	県 道
	河 川
	JR(越後線)

主要地方道 鯨波宮川線

経営体・長嶺地区

二級河川 別山川

経営体・和田地区

団土地・新保地区

経営体・五日市・内方地区

団土地・十日市地区

経営体・北野地区

中山間・西山二田地区

一般県道 礼拝長岡線

北陸自動車道

主要地方道 柏崎高浜堀之内線

西山IC

中山間・西山内郷地区

西山町伊毛

一般県道 椎谷礼拝停車場線

一般県道 寺泊西山線

西山町下山田

JR越後線

国道116号

二級河川 鎌田川

二級河川 藤掛川

西山町礼拝

西山町池浦

西山町中央台

二級河川 二田川

西山町二田



事業概要		
受益面積		23.7ha
主要工事	区画整理	23.7ha
	整地工 他	23.7ha
	暗渠排水工	23.7ha
関連事業	(国) 柏崎周辺 (県) 柏崎地区	
事業主体	新潟県	